

森田専門委員によるコメント

ヒトにおける知見及び食品健康影響評価について、以下のとおり考えます。

- グルコン酸亜鉛の経口摂取における知見のうち、対照群が設定されているのは Black ら(1988)の報告ですので、この知見をもとに評価すべきと考えます。
- 不確実性係数については、1.5 が妥当であると考えます。
- なお、当専門委員会で、Black の論文を LOAEL の根拠とする場合、論文内の情報から計算される値は、表のようになると考えられます。

	Placebo	50mgZn	75mgZn
Weight	76.9	74.6	77.8
Dietary Zn Intake	12.6	14.1	9.8
Total Zn Intake	12.6	64.1	84.8
Zn Intake/kg	0.16	0.86	1.09
UF=1.5の場合		0.57	0.73

75mg 投与群は、食事性の Zn 量が有意に少なく、他の食事性因子にも差がみられるようですが、50mg 投与群は、食事性因子には明らかな差は見られないとされています。当該論文の著者は 50mg 投与群以上で、HDL コレステロールの低下がみられたとしております。